

## サイバーセキュリティ戦略で示された課題

情報セキュリティに係るリスクの深刻化に対応し、情報セキュリティ水準の向上を図るためには、

○人材の量的不足の解消に向け積極的な取組が必要であるとともに、教育だけでは得られない突出した能力を有する人材の確保も大きな課題。

○そのためには、社会全体で育成し活用するための仕組みが必要。

## 人材の量的・質的不足

情報セキュリティ従事者 約26.5万人

うち質的不足 約16万人

さらに量的不足 約8万人

⇒これら人材の雇用の受け皿も不可欠

## 取組の方針

我が国の情報セキュリティの水準を高めるため、人材の「需要」と「供給」の好循環を形成する。

### 【需要】経営層の意識改革

#### 【組織の経営層】

- 経営層の意識改革を促し、情報セキュリティを経営戦略として認識させるための取組を推進。
- 製品・サービス調達における情報セキュリティの要件化等を通じ、投資意欲を喚起して、人材の需要を創出。

#### 【実務者層のリーダー層】

- 経営戦略の視点から情報セキュリティの課題や方向性を考え、経営層との橋渡しができる能力を育成。

### 【供給】人材の「量的拡大」と「質的向上」

#### ○必須能力としての情報セキュリティ

- ・実務を担う技術者に、情報セキュリティを必須能力として位置付け。
- ・能力評価基準・資格のあり方の検討を進め、人材の能力の「見える化」を推進。

#### ○高度な専門性及び突出した能力を有する人材の発掘・育成

- ・高度な専門性を持った人材の育成に向け、高等教育の強化を推進。
- ・突出した人材の発掘・能力向上及び社会での活躍を促進。

#### ○グローバル水準の人材の育成

- ・各国機関との連携、国際会議の誘致、競技イベントの国際化等を通じ、研鑽を積むことのできる環境を整備。

#### ○政府機関等における人材育成

- ・リスクに対応できる職員の採用・育成や研修・訓練を実施。
- ・重要インフラ事業者等の意識啓発、人材育成に関する支援等を実施。

#### ○教育機関における情報通信技術教育の充実等

- ・初等中等教育段階における情報通信技術に関する教育を推進。
- ・高等教育段階における実践的能力を高める演習を強化。
- ・情報セキュリティに関する教員養成を促進。